

据置台 工事説明書

77L030-2

表示について（表示の意味は次のようになっています）

注意 作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の製品の不具合によって使用者等が、傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

型 式 名	SD-4530	SD-6530
-------------	---------	---------

注意 工事される方へのお願い

この据置台は、専用機器に使用してください。機器を安全に正しくご使用いただくために、この工事説明書をよくお読みになり正しく施工してください。

1 同梱部品の確認

梱包の中には下記部品が入っています。取り付け前に確認をしてください。

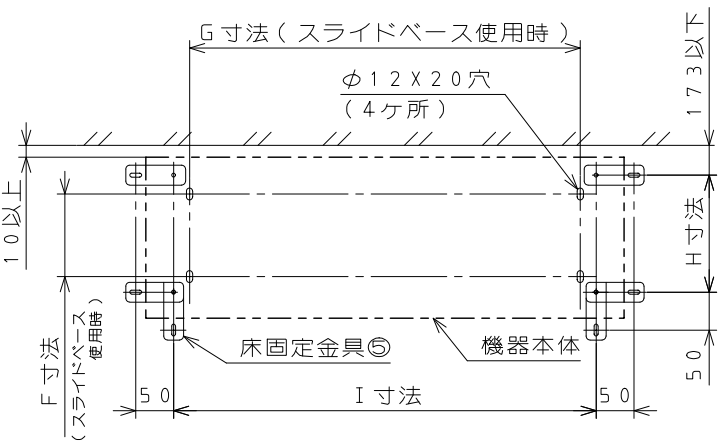
品番	品名	個数
①	据置台	1
②	ネジ(トラスM4×10)	5
③	壁固定金具	1
④	固定板上	1
⑤	床固定金具	4
⑥	工事説明書	1

2 設置前の注意

据置台を設置してから、機器本体を取り付けてください。

3 取付方法

- 据置台を置く床面は平らにし、水はけをよくしてください。また、脚はセメントなどで埋めこまないでください。
- 据置台は耐火耐熱材の上に水平に据え付けてください。約3°迄の傾斜の場合はアジャストボルト(各脚共10mm)で調整できます。
- 据置台は(6)の最後にアンカーボルト(M10)等で堅固に固定してください。尚、あらかじめアンカーボルト固定位置を墨出しすることをおすすめします。(下図参照)



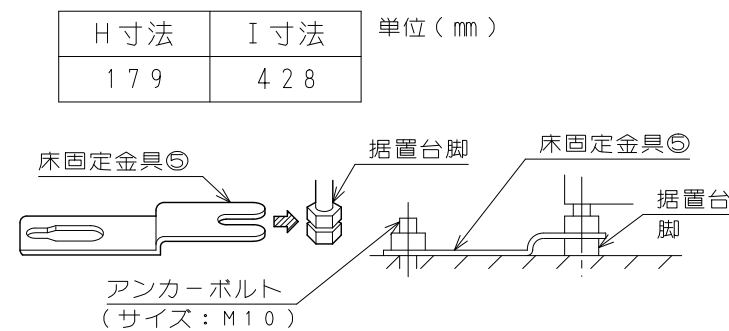
■スライドベース使用(直付け)の場合 (アンカーボルトサイズW3/8または、M10)

F寸法	G寸法	単位(mm)
119	404	

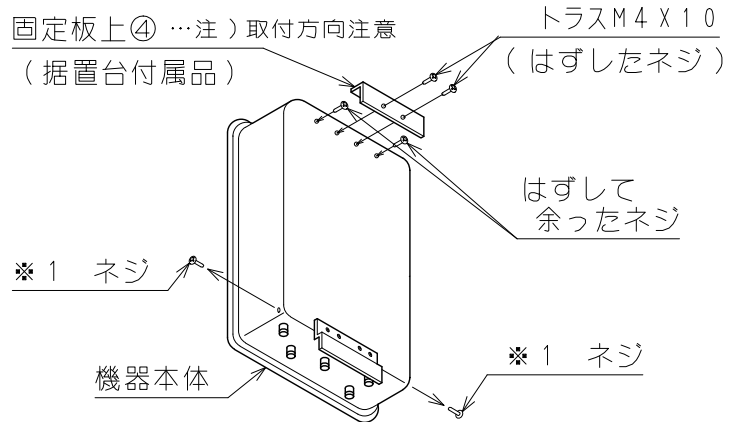
注) スライドベースを使用する場合は機器本体付属の工事説明書を参照してください。

■床固定金具⑤を使用する場合

据置台の脚に床固定金具⑤のUカット部をはめ込みアンカーボルト(M10)等で固定します。(下図参照)

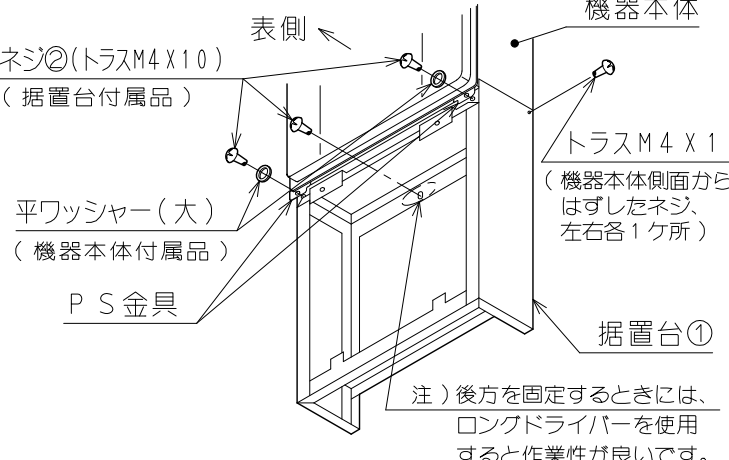


- (4) 機器本体上部についている掛金具をはずし(ネジ4本)、固定板上④を取り付けてください(はずしたネジ2本使用)。また、はずしたネジの余り2本は下図のように機器本体に取り付けてください。

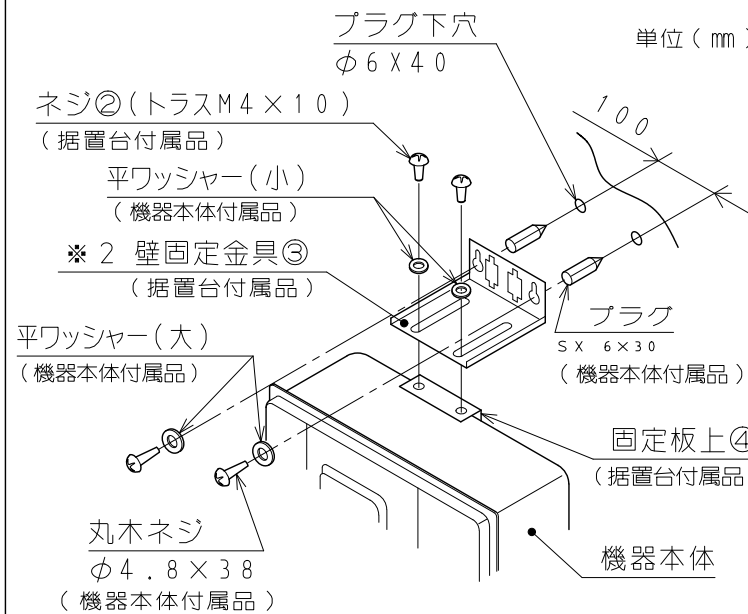


- ※1…機器本体側面下部のネジ(左右各1本)は一度はずします。はずしたネジは再使用しますので、紛失しないように注意してください。

- (5) ・据置台のフロントカバーを化粧ネジ(2本)をゆるめてはずします。
・機器本体側面下部のネジ(左右各1本)をはずし、機器本体を据置台にのせます。
・次に前方を機器本体下部左右のP S金具の長穴を利用して平ワッシャー(大)(機器本体付属品)およびネジ②(各2個)で、後方をネジ②(1本)で、両側面を※1の機器本体からはずしたネジ(左右各1本)で、機器本体と据置台を固定してください。



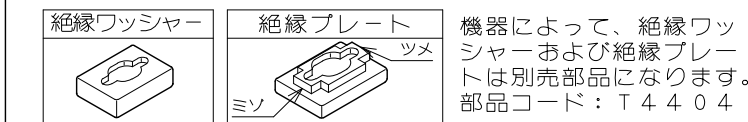
- (6) ・壁固定金具③を、壁からの離隔距離に調整して平ワッシャー(小)(機器本体付属品)およびネジ②(各2個)にて固定板上④に固定します。
・次に機器本体を移動させて壁に密着させ、機器本体付属品の平ワッシャー(大)および丸木ネジφ4.8×38(各2個)にて壁と固定します。(モルタル、コンクリート壁等の場合は、先にプラグを壁に打ち込んでください。)



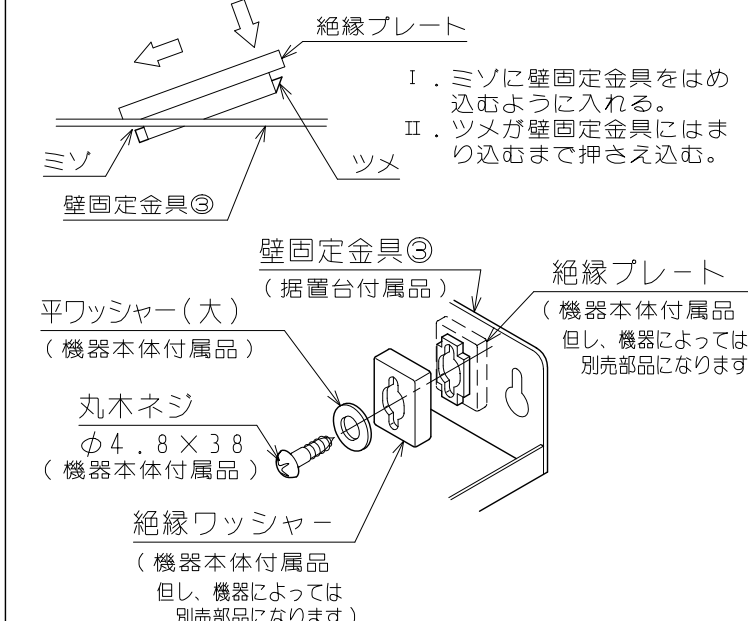
- ※2…壁固定金具③は、壁からの距離10～150mmの範囲でスライドできます。

■絶縁が必要な場合

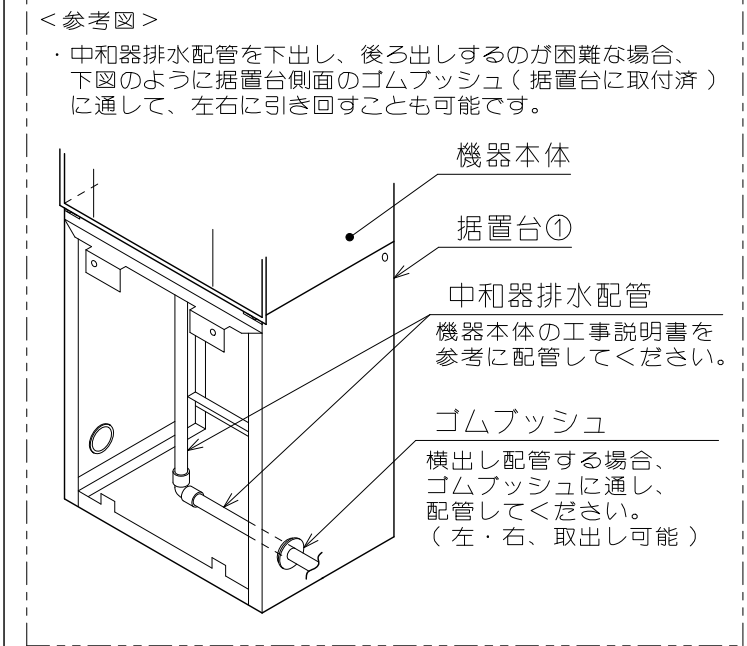
「電気設備に関する技術基準を定める省令」および「電気設備の技術基準の解釈」に従って工事を行ってください。メタルラス張り、ワイヤラス張り等の木造の造営物に電気器具を取り付ける場合、機器と造営物とは、電氣的に接続しないように施設しなければなりません。(電気設備技術基準第167条第3項) 絶縁ワッシャーおよび絶縁プレートを以下の要領で壁固定金具③に取り付けてください。



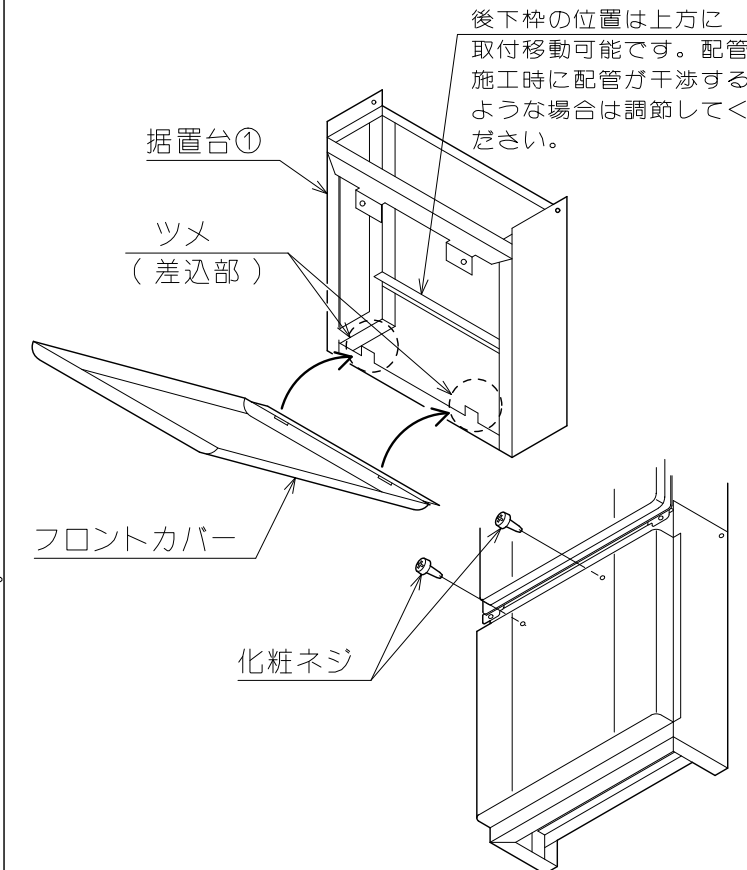
- 壁固定金具③に後面から絶縁プレートをはめ込みます。絶縁プレートのはめ込み方は下図を参照してください。
- 絶縁ワッシャーをかぶせて、機器本体付属品の平ワッシャー(大)および丸木ネジφ4.8×38にて壁と固定します。



- (7) 配管施工をしてください。
施工方法は機器本体付属の工事説明書を参照してください。



- (8) 据置台のフロントカバーを取り付けてください。
フロントカバー下部の角穴に据置台組立のツメを差し込み、フロントカバーを立ち上げて化粧ネジ(2本)で止めてください。



注意 安全上の注意

据置台のフロントカバーをしっかりと閉め、ガタつきの無いことを確認してください。下部差込箇所がはずれていないことを確認した上で、化粧ネジを工具、コイン等を使用してしっかりと締めてください。